



# 白金の丘

白金の丘小学校・白金の丘中学校

令和8年6月1日

第3号

## 教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

Tel: 小学校 3441-5363 中学校 3441-5361 Fax: 小学校 3441-0762 中学校 3441-0761  
Email:sirokanenooka-ej@minato-ty.ed.jp HP:https://sirokanenooka-ej.minato-ty.ed.jp

## 違いを認め合い、ともに歩んでいくこと

校長 篠崎 玲子

新緑が美しい季節となりました。先月末に、中学生主体で実施している「白丘の乱」が挙行され、大活躍する生徒の様子が見られました。小学校の児童の大きな声援を受け、また一歩、成長した生徒たちの今後の活躍にさらなる期待を膨らませたところです。

さて、白金の丘学園では、「児童・生徒一人ひとりが活躍できる学園」を掲げ、一人ひとりを大切にすることを学校経営の根幹とし、教育活動を進めております。

当然のことですが、皆さんは、それぞれ得意なことも違いますし、思いや考え方も一人として同じ人はいません。このことを「個性」といいますが、「個性」があるからこそ、一人ひとりが違う輝きを放ち、よい意味で互いを認め合い、学園が学びの場となっていると私は感じています。

今から約60年前にノーベル平和賞を受賞したアメリカの公民権運動の指導者であるマーティン・ルーサー・キング・ジュニアは、「私たちは皆、違う船でこの国に来た。しかし今は同じ船に乗っている。」という言葉を残しました。この言葉には、「人は皆、違う存在でありながら、共に支え合って生きている。互いを尊重し、認め合うことが大切である。」という意味が込められているそうです。

この言葉のように、学園生活の場においても同じことがいえるのではないのでしょうか。「友達の考えに耳を傾けること」、「自分とは違う意見を受け止めること」など、その一つ一つが、よりよい集団をつくる力になることにつながっていくのではないのでしょうか。

また、現在も世界的に活躍されている大谷 翔平 選手は、「一人では大きなことは成し遂げられない」と語り、仲間や支えてくれる人への感謝を大切にしています。どれほど優れた力をもっていても、周囲の人との協力や支えがあってこそ、その力は生かされるということを話されているのだと思います。児童・生徒の皆さん、改めて、「違いを認めて、尊重すること」を意識してくださいね。

これからの社会は、多様な人々と協働しながら課題を解決していく力がますます求められてきます。そのためにも、白金の丘学園では、児童・生徒一人ひとりが「唯一無二の存在」であることを大切にしながら、互いを認め合い、安心して学び合える学園づくりを進めてまいります。

保護者・地域の皆様には、引き続き本学園の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。